



新型コロナウイルス感染症について 10

「季節の行事」における感染防止対策の徹底のお願い

多数の人が集まる「季節の行事」において、人と人の距離の確保等を管理する主催者がいないケースでは、適切な感染防止対策が講じられず、感染リスクが高まることが想定されます。このため、県民事業者の皆様には、以下の点に留意し、感染防止対策を徹底していただきますようお願いいたします。

- 多数の人が集まる「季節の行事」に参加する場合は、人と人の距離の確保・マスクの着用・手指衛生・大声での会話の自粛など、「基本的な感染防止対策」を徹底して下さい。
- 公道など、主催者がいない場所で、不特定多数の人が密集し、大声等の発生を伴う行事、パーティー等への参加は控えて下さい。
- 街頭や飲食店での、**大量または長時間・深夜にわたる飲酒**や、飲酒しての季節の行事への参加は、なるべく控えて下さい。
- 家族同士で、自宅で過ごす、オンラインのイベントに参加するなど、**新しい「季節の行事」の楽しみ方**を検討していただくなど、工夫をお願いします。

県公式 Web サイト

<https://www.pref.aichi.jp/site/covid19-aichi/covid19-aichi.html>

愛知県新型コロナウイルス感染症

警戒領域

感染防止対策の徹底

高齢者等への拡大防止

新たな日常への行動変容

季節の行事での対策徹底

2020/10/28 現在

(理学療法士・熊澤)



中部メディカル新聞は皆さまの情報をお待ちしております

中部メディカル新聞 第90号 (2020年11月) 発行日/2020年10月31日 編集・発行/中部メディカル 訪問看護ステーション



看護師 Quiz みちくさ



今月は難読漢字クイズです。

問題① 団栗

ヒント1 秋になると公園などでよく見つかります。

ヒント2 リスやネズミが食べる事で知られます。
人が食用とすることも。

問題② 若布

ヒント1 食べ物の名前です。

ヒント2 味噌汁に欠かせない存在。

問題③ 仙人掌

ヒント1 春日井市の特産です。

ヒント2 南北アメリカ大陸の熱帯乾燥地帯産です。

(伊藤・看護師)



中部メディカル 訪問看護ステーションの理念

- **こころを大切に** (ご本人とご家族のこころを大切にします)
- **連携を大切に** (地域のケアチームと親密で良好な関係を築いていきます)
- **スピードを大切に** (出来る限り早く対応して信頼されるステーションを目指します)



訪問看護、訪問リハビリについてのご質問ご相談のお電話、メールをお待ちしております。ホームページからもお問い合わせできます

中部メディカル 訪問看護ステーション



〒463-0048 名古屋市守山区小幡南三丁目 17-31 B-3

T E L 052-792-9802 F A X 052-792-9803

E-mail chubucare@arion.ocn.ne.jp

HP <http://www.chubu-med.com>

事業所番号 NO.2361390186





中部メディカルのスタッフ便り



最後の七五三



最近時間を見つけては、七五三の着物の着付けを練習しています。先日実家から、私が子どもの時に着ていた着物を送ってもらい、七歳の長女に着させるためです。今年は我が家にとっては最後の七五三。今までは、3人の子ども達と日々の生活を無事に過ごすだけで精一杯。準備にかかる時間が持たず、子供の行事ごとを避けてきてしまいました。もう下の子も5歳。少しずつ時間にゆとりが出来、やっと心の余裕が出てきたので家族の行事を大切にしていきたいと思えるようになりました。

前向きな気持ちで準備に取り組む事が出来るようになり、些細なことですが喜んでます。七歳の長女は着物を着る事にやる気満々、5歳の息子は…。どんな七五三参りになるかドキドキですが、子ども達の成長を喜べる時間が持てたらと思います。



(山中・看護師)



スタッフのほっと一息



今回はテレビ番組で話題となったパンが近所のスーパーに売っていたため購入してみました。このパンは昭和50年頃にフジパンのグループ会社が製造・販売していた洋菓子。現在は発売されていませんでしたがフジパンが残っている少ない資料と当時を知る職員の記憶をたどり期間限定ですが復活したようです。

スポンジケーキにミルク風味クリームをサンドしミルク風味クリームの上にざらめがトッピングされていました。味はざらめの食感を楽しむ事ができ、一度は食べたことのあるとても懐かしい味でした。みなさんも見つけたら食べてみてください。



(松本・管理者看護師)



* どっちかな? 「もの忘れ」と「認知症」 *



年齢を重ねると、誰もが「もの忘れ」をしやすくなります。それは脳の老化によるものです。訪問看護で皆さんから、「最近もの忘れが多くて。認知症かな。」とお聞きすることも、しばしばあります。

認知症によるもの忘れ

- ・もの忘れの自覚がない
- ・体験したこと自体忘れる
- ・ヒントがあっても思い出せない
- ・日常生活に支障がある
- ・判断力の低下



例えば：
「約束したことを忘れている」
「印鑑をしまったことを忘れている」

加齢によるもの忘れ

- ・もの忘れを自覚している
- ・体験したことの一部を忘れる
- ・ヒントがあれば思い出す
- ・日常生活に支障は無い
- ・判断力は低下しない

例えば：
「うっかり時間を忘れてしまう」
「印鑑をどこにしまったか忘れて探している」

人は誰でも歳を重ねると共に脳の機能が衰えて、年相応の自然なもの忘れがみられます。少しでも「もの忘れ」のスピードを遅くしたいと思われる方！ぜひ主治医の先生、訪問看護師、ケアマネジャーさんなど近くの人に相談してみてください。

(三宅・看護師)



私の18のビリーブ17節約



11月に入り秋も深まってきました。寒さ厳しくなる前に少しずつ大掃除を始めようかと計画を立てるのもいいですね。今年はコロナウイルスの影響で、自宅で過ごす時間が増え、物が増えてしまった方もみえるのではないのでしょうか。

物は使わないと意味がないので物を泣かせず、無駄のないようにしなくてはなりませんね。衣替えもまだ終わってないのでこれから運動を兼ねてやって行こうかなと思っています。

(熊澤真・専務)

